６月定例会　常任委員会の報告

総務文教常任委員会

【主な報告案件と質疑】

●防災ハザードマップの作成について

質問　１日1,000ミリを超える雨量の水害が起こり得ることを念頭に置いてハザードマップを作っていかなければならないと思うが、基本的な考え方について伺う。

答弁　法の規定では、想定し得る最大規模の洪水による浸水想定区域を示すものとされています。温暖化の影響もあってか、異常な大雨が実際に全国各地で起こっている状況を踏まえれば、滝川市も他人事ではなく、市民の皆さんにそういうことが起こり得るという意識を持っていただけるようなハザードマップを作っていきます。

▲平成28年の台風９号による河川の氾濫

厚生常任委員会

【主な報告案件と質疑】

●市立病院の令和元年度決算見込みについて

質問　入院患者数が落ち込んでいるが、減った患者はどこに行ったのか。入院せずに自宅療養を余儀なくされていないのか伺う。

答弁　疾病に悪影響が及ばない範囲で手術を延期したことがありますが、一定の回復が見られ自宅療養などで健康上の問題がないと診断された患者には退院していただき、必要な通院に切り替えたことなどから入院患者数が減少したもの思われます。また、新型コロナウイルス感染が懸念されるなかで気持ちの面で受診や入院の抑制などにつながったのではないかと考えています。

質問　投薬の処方期間を長くして、市立病院に来なくて済むような対応をしたのか。

答弁　来院の負担軽減を図るため、以前より長い処方期間に変えた割合は増えています。また、電話での問い合わせがあったときは、医師がカルテを見ながら、受診が必要な方には受診するよう指導しています。

経済建設常任委員会

【主な報告案件と質疑】

●滝川市プレミアム付商品券事業の実施結果について

質問　低所得者と子育て世帯を対象とした滝川市プレミアム付商品券事業については、当初から最大５セットを販売することとし、結果的には半分ぐらいの交付率だったと思うが、途中でさらに５セット増やすという考えはなかったのかを伺う。

答弁　国から販売に関する要綱などが定められていて、補助事業としては１人５冊が上限でしたので、それを上回る販売はできませんでした。

●都市計画公園の廃止について

質問　公園廃止後の跡地利用として、売却などが優先的に考えられるが、情報開示とともに問い合わせが現時点であるのか伺う。

答弁　町内会長などには公園の廃止について説明させていただきましたが、跡地の利用についての問い合わせなどは現在のところありません。